

〔ポリオキシン水溶剤〕

農林水産省登録 第15176号

性 状：淡褐色水溶性細粒

毒 性：普通物

危 険 物：—

有効年限：6 年

包 装：100 g × 50 袋

ポリオキシン® AL水溶剤 「科研」

有効成分：ポリオキシン複合体 …… 50.0% (ポリオキシンBとして 500,000AmBu / g)

殺菌剤分類 19

ポリオキシンは科研製薬(株)等の登録商標



「住友化学農業ガイド」の見方：i-農力サイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。
本剤の最新情報：こちらのQRコードを読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報をご覧いただけます。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール当たり 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
ぶ ど う	灰色かび病 うどんこ病 黒とう病 ハダニ類 チャノキロアザミウマ	5000 倍	200~700 ℓ	60 日前	5 回	散布
				前日	3 回	
マ ン ゴ ー	灰色かび病 チャノキロアザミウマ	5000 倍	200~700 ℓ	前日	2 回	
き ゆ う り	灰色かび病 うどんこ病 ハダニ類 アザミウマ類			7 日前	3 回	
パ セ リ	うどんこ病	2500 倍	100~300 ℓ	前日		
か ぼ ち ゃ	つる枯病 うどんこ病				7 日前	
ト マ ト	灰色かび病 葉かび病 アザミウマ類	5000 倍	100~300 ℓ	前日	3 回	
な す	灰色かび病 すすかび病 うどんこ病 ハダニ類 アザミウマ類					
い ち ご	灰色かび病 うどんこ病 ハダニ類 アザミウマ類					
メ ロ ン	つる枯病	10~50 倍	—	7 日前	本 剤：1 回 ポリオキシン：5 回 (#1)	
	つる枯病 うどんこ病	1000~2000 倍	100~300 ℓ	前日	本 剤：5 回 ポリオキシン：5 回 (#1)	散布
ハダニ類 アザミウマ類	2000 倍					
す い か	つる枯病 うどんこ病	1000~2000 倍				
	ハダニ類 アザミウマ類	2000 倍				

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法		
はくさい	黒斑病	2500~5000倍	100~300ℓ	7日前	5回	散布		
レタス 非結球レタス	菌核病	2500倍		14日前	3回			
キャベツ	黒すす病	20倍	—	は種前	本剤：1回 ポリオキシソ：7回 (#2)	10分間 種子浸漬		
		1000倍	3ℓ/m ²	は種覆土後				
		2500倍	セル成型育苗トレイ(30×60cm、土壌量約3~4ℓ) 1箱当り500ml	子葉展開期以降	本剤：2回 ポリオキシソ：7回 (#2)	灌注		
	1500倍	3ℓ/m ²	14日前	本剤：3回 ポリオキシソ：7回 (#2)				
にら	白斑葉枯病				1回			
食用ぎく きく(葉)	白さび病	2500倍		3日前	2回			
カーネーション	斑点病	2500~5000倍	100~300ℓ	発病初期	8回	散布		
ゆり	葉枯病	2500倍						
グラジオラス	赤斑病 ボトリチス病							
花き類 ・観葉植物	アザミウマ類 ハダニ類	2000~2500倍						
	灰色かび病 黒斑病 うどんこ病							
	葉枯病							
りんどう	苗腐敗症 (アルタナリア菌)	2500倍					本葉展開後 ~定植前	
トルコギキョウ	斑点病							発病初期
ホワイトレース スフラワー	黄斑病							
たばこ	赤星病 菌核病 うどんこ病	2500~5000倍					100~180ℓ	5日前
	灰色かび病	2500倍						

#1：塗布は1回

#2：種子浸漬は1回、1000倍希釈灌注は1回、2500倍希釈灌注は2回、散布は3回



効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 所定量の水に本剤の所要量を加え、よくかきまぜて溶解させてから散布する。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液等アルカリ性薬剤との混用はさける。
- 本剤の連続使用によって、薬剤耐性菌が出現し、効果の劣った事例があるので、過度の連用をさけ、なるべく作用性の異なる薬剤と組み合わせて輪番で使用する。
- 宿根かすみそうには薬害が生じるおそれがあるので、使用をさける。

- きくくを使用する場合、葉害を生じるおそれがあるので、着蕾期以降は高温時の散布をさける。
- メロンのつる枯病防除に使用する場合、幼苗期はさけ、本圃定植後の発病初期に処理する。
- レタス、キャベツの菌核病が多発する場合は、効果がやや劣ることがあるので注意する。
- キャベツの黒すす病に対し発芽後灌注する方法で使用する場合、なるべく早期に処理する。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用する。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意



- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。使用後は洗眼する。
- 使用の際は不浸透性手袋などを着用する。
- 密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所に保管する。

「[農業ガイドの見方](https://www.i-nouryoku.com/prod/search/) (<https://www.i-nouryoku.com/prod/search/> [農業ガイドの見方.pdf](#))」の「3. 注意事項：(1)、(2)、(3)、(4) - C」も合わせてお読み下さい。

〔品目特性〕

- 花卉・野菜類のうどんこ病、灰色かび病などの重要病害にすぐれた予防・治療効果があります。
- 灰色かび病に対しては他の殺菌剤との混用やローテーション散布で一層効果が高くなります。
- 鉍物質や乳化剤などを取り除いた製剤ですので、花卉・野菜類に対し、汚れの心配がありません。